

開講科目名 / Course	成人看護援助論（急性期）	
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	古賀 雄二	
担当教員名 / Instructor	古賀 雄二	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	急性期や重症な状態にある人および周術期にある人とそれらの家族へのチーム医療における看護の役割を理解するために、基礎となる主要概念や理論を踏まえ、身体的特徴や治療の概要、回復過程の看護を学ぶことができる。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 急性期や重症な状態にある人の身体的・心理的・社会的特徴を説明できる。 周術期にある人の身体的・心理的・社会的特徴を述べるができる。 手術療法と起こりうる合併症および、その予防と対処方法を説明できる。 回復過程および退院を見据えた生活の再構築への援助を説明できる。 急性期や重症な状態にある人および周術期にある人と家族への心理的・社会的援助方法について説明できる。 	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探求心と創造力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 急性期・周術期とチーム医療、生活の再構築に向けた看護の役割 侵襲の種類と生体反応（生体侵襲理論） がん治療（薬物療法、放射線療法、手術療法）と看護 術中看護：全身麻酔手術の影響 術後合併症と看護 麻酔覚醒遅延、術後痛、呼吸器合併症、循環器合併症 術後合併症と看護 末梢循環不全、皮膚・神経障害、術後イレウス、術後感染、縫合不全、術後せん妄、離床遅延 術前看護：予備能評価、周術期外来、意思決定支援、生活背景の理解/退院を見据えた支援 クリティカルケアと看護（集中治療看護） クリティカルケアと看護（救急看護） 	
その他の授業の工夫	学生自身が主体的に学び、理解を深められるように予習・復習の視点を毎回提示する。	
時間外学修	事前学修：次回の学習内容について配布資料や教科書を用いて予習する（10h）。 事後学修：配布資料を用いて復習する（12h）。	
評価方法と評価割合	筆記試験：100%	
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論（医学書院） 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論（医学書院） 系統看護学講座 別巻 がん看護学（医学書院）	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他	必要に応じ、ハンドアウトを提示する。構造と機能、看護外科病態学、成人看護学概論との関連が深いので、既習の内容は復習をして授業に臨みましょう。	
教員の実務経験	有・無	有
	内容	古賀雄二：病院の看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	集中治療を中心とした臨床経験を活かし、学生の興味関心が高まるように看護と関連づけた事例を用いて講義を行う。	